



応援団結団式

今日10日(水)に応援団結団式が行われました。全校児童が一堂に体育館に集まって、赤・白・青団に分かれて整列し、各団のリーダー紹介とエールの交換が行われました。



赤団団長の酒見さんは「赤団みんなが笑顔になれる運動会にします。」と意気込みを語りました。白団団長の後藤さんは「白団を優勝に導くために、全力で演舞をします。」と語りました。青団団長の星子さんは「今までの応援団にも負けないくらいの応援で、青団を優勝に導いていきます。」と語りました。

また、全団によるエールと運動会の歌も全員で歌い、会場は熱気に包まれていました。今回の結団式では、団長そして応援団係の子供たちの思いや意気込みが、全校児童に伝わり、運動会への士気が高まりました。今後も、それぞれの学級・学年で、運動会を盛り上げていきたいと思います。

たてわり班活動のスタート

今日から、たてわり班活動が始まりました。体育館での結団式の後、体育館からたてわり班活動を行う教室に、各班移動しました。1年生は6年生のお兄さんお姉さんから手を引かれて移動しました。教室では、自己紹介や班の名前を決めて、班への所属意識とこれからの活動に見通しをもちました。このたてわり班活動とは、異学年(1年生から6年生まで)で班編成を行い、様々な活動を行います。本校では、毎週水曜の1時20分から1時45分までを「わくわくタイム」というたてわり班の活動が設定されています。1つのたてわり班は、25人程度で編成され、そこで異学年同士が交流し合います。交流し合うことで、「帯西グリーン」がたくさん登場します。また、6年生にとってはリーダーとしての役割が生まれますので、「帯西イエロー」の心が活躍します。特に6年生は、最上級生としての自覚や自信を持ち、様々な異学年交流活動によって人間関係を広めたり深めたりする中で、6年生の子供自身のよさを生かし、自己有用感を高めていけるのです。また、下級生はそんな6年生に憧れをもって、自分たちも自主的・自発的に行動しようと思うのです。また、異学年で交流し合うことにより、リーダーシップやフォロワーシップによって、それぞれの集団での役割分担や協力が生まれ、社会性が身に付いていくことが期待されます。

